

●file 関数

○file 関数への入力と、file 関数が行う処理

入力:ファイル名文字列

処理:ファイルの一行ずつを配列に格納し、その配列を返す。

○例

//test.txt の中身→

Alpha

Bravo

Charlie

//コード

```
<?php
    $textArray = file('test.txt');
    var_dump($textArray);
?>
```

//実行結果

```
array(3) { [0]=> string(6) "Alpha " [1]=> string(6) "Bravo " [2]=> string(8) "Charlie " }
```

これをコメントのテキストファイルに使えば、コメント一行一行が配列に入ったものが完成する。1 行目が配列 0 番なのはあいかわらず配列特有の注意点。

【発展】この関数の仕組みは、改行コード(¥n)を認識して行を区切っている(改行コードについては LINE アルバム 1-6 参照)。実は配列の要素にはその改行文字もしっかり入っている。ヒントは var_dump の文字数表示

●count 関数

○count 関数への入力と、count 関数が行う処理

入力: 配列

処理: 配列の要素の数を返す。

○例

//コード

```
<?php
```

```
    $array = (“秋葉”, “鈴木”, “野原”); //3 つ
```

```
    $num = count($array);
```

```
    echo $num;
```

```
?>
```

//実行結果

3

あんまり説明がいないシンプルな関数です。

●あわせ技

//text.txt の中身

あの日見た

花の名前を

僕たちはまだ

知らない

//コード

```
<?php
```

```
    $filename = 'text.txt';
```

```
    $array = file($filename);
```

```
    $num = $count($array);
```

```
    echo num
```

```
?>
```

//実行結果

4

行数を数字で得られました。これがコメントなら、新しい投稿番号は今までの行数足す 1。

そろそろおわかりでは…?

投稿番号の取得の答えの 9 割くらい書いてしまったような気がしますが、牧口さんがホワイトボードで説明してくれたこととほぼ同じなので良しとします笑